

第8回 児童・生徒によるプレゼンテーション大会

1月14日(土)に、日野市民会館で「第8回 児童・生徒によるプレゼンテーション大会」が開催されました。小学校17校、中学校4校に加え、「被災地に学ぶ生きるカプロジェクト」の発表が行われ、市民の方や保護者、学校関係者に向けて、「安全・防災についての啓発」「住んでいる地域の特色アピール」「日ごろの学習等の実践の報告」など、多種多様なプレゼンテーションが行われました。



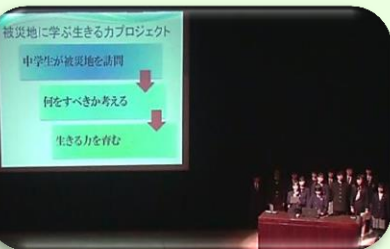
紙面の都合で全校ご紹介できず、すみません...

平成28年度 第8回 児童・生徒による プレゼンテーション大会

【午前の部】10時15分～12時30分 【午後の部】1時15分～4時00分

①被災地に学ぶ生きるカプロジェクト
②日生小学校
③日生小学校
④日生小学校
⑤日生小学校
⑥日生小学校
⑦日生小学校
⑧日生小学校
⑨日生小学校
⑩日生小学校
⑪日生小学校
⑫日生小学校
⑬日生小学校
⑭日生小学校
⑮日生小学校
⑯日生小学校
⑰日生小学校
⑱日生小学校
⑲日生小学校
⑳日生小学校
㉑日生小学校
㉒日生小学校
㉓日生小学校
㉔日生小学校
㉕日生小学校
㉖日生小学校
㉗日生小学校
㉘日生小学校
㉙日生小学校
㉚日生小学校
㉛日生小学校
㉜日生小学校
㉝日生小学校
㉞日生小学校
㉟日生小学校
㊱日生小学校
㊲日生小学校
㊳日生小学校
㊴日生小学校
㊵日生小学校
㊶日生小学校
㊷日生小学校
㊸日生小学校
㊹日生小学校
㊺日生小学校
㊻日生小学校
㊼日生小学校
㊽日生小学校
㊾日生小学校
㊿日生小学校

①日生小学校
②日生小学校
③日生小学校
④日生小学校
⑤日生小学校
⑥日生小学校
⑦日生小学校
⑧日生小学校
⑨日生小学校
⑩日生小学校
⑪日生小学校
⑫日生小学校
⑬日生小学校
⑭日生小学校
⑮日生小学校
⑯日生小学校
⑰日生小学校
⑱日生小学校
⑲日生小学校
⑳日生小学校
㉑日生小学校
㉒日生小学校
㉓日生小学校
㉔日生小学校
㉕日生小学校
㉖日生小学校
㉗日生小学校
㉘日生小学校
㉙日生小学校
㉚日生小学校
㉛日生小学校
㉜日生小学校
㉝日生小学校
㉞日生小学校
㉟日生小学校
㊱日生小学校
㊲日生小学校
㊳日生小学校
㊴日生小学校
㊵日生小学校
㊶日生小学校
㊷日生小学校
㊸日生小学校
㊹日生小学校
㊺日生小学校
㊻日生小学校
㊼日生小学校
㊽日生小学校
㊾日生小学校
㊿日生小学校



ところで...

なぜ平山小学校は
毎年「スタディノート」で
発表するのですか？

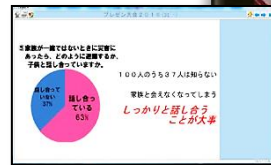
平山小6年担任の先生のお話

平山小学校の授業ではプレゼンが目的(最終ゴール)になることはほとんどありません。むしろ、自分の考えを画面に表現した後に本当の学びがスタートすると思います。意見交換して、異なる考えを知ったり、新たな意見を生み出したりすることが目的です。

本校では、1年生から、算数の問題づくりで「スタディノート」を活用しています。このように、日常的にスタディノートで対話的な学びを行っているので、今回のプレゼン大会のような場合も、そのためにあえてプレゼンソフトを活用するのではなく、日常的授業で使っているいつものツールを利用します。

日常的に授業で
「スタディノート」を
活用しているからです！

私たちはいつも使っている
「スタディノート」で
発表します！



<日野市のプレゼンテーション大会について>

日野市では平成20年度に市民を交えて教育基本構想を策定する会議が行われ、日野市の特色であるICTを活用してプレゼン大会を行ってはどうか、という意見が出ました。その時、当時のICT活用教育推進室長が、つくば市の事例を紹介しました。つくば市では、小学校も中学校も日常的にスタディノートを活用し、主体的、対話的で活発な授業が行われ、その延長線上でプレゼン大会でもスタディノートが使われていました。つくば市のプレゼン大会は今も続いていて市長賞が出るなど活発に開催されています。日野市でもスタディノートが全小・中学校に導入されていますし、将来的にはICTを活発に使った授業の先にプレゼン大会が位置付けられたら...との思いがあったそうです。(小林室長 談)

もちろん、パワーポイントなどのプレゼンソフトが必要がないということではありません！

ただ「プレゼン」が目的になってしまわない学び～次期学習指導要領でも示されている「主体的」「対話的」「深い学び」～におけるプレゼンの意味と役割について、改めて考えるきっかけになりました。